2022.04

ランドリー収納

必ずお読みください

ランドリー可動棚 モダンタイプ

施工・取扱説明書

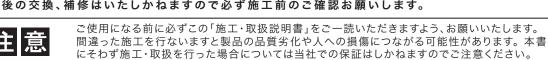
~~~~~ 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

I	首都圏営業 グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
	東日本営業 グループ	北海道・東北営業チーム 関東甲信越営業チーム 中部営業チーム	TEL(087)825-3632 TEL(087)806-3660 TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3695 FAX(087)825-3645 FAX(087)825-3646
	西日本営業 グループ	近畿営業チーム 中四国営業チーム 九州営業チーム	TEL(087)825-3623 TEL(087)825-3624 TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3647 FAX(087)825-3648 FAX(087)825-3649
I	特需営業 グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工前に製品をよくお確かめください。 ランドリー可動棚モダンタイプの取り付け手順は本書をご覧ください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認お願いします。





寸法単位:mm

取付完成図

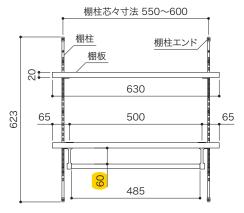
※ハンガーパイプ付きの完成図です。

※ハンガーパイプが付かない場合は、下段が上段と同じ棚板のみになります。

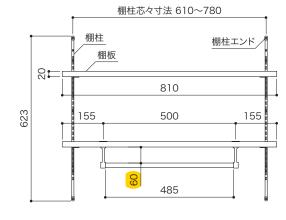
※棚柱芯々寸法の範囲内で、下地があるところに棚柱を取り付けてください。

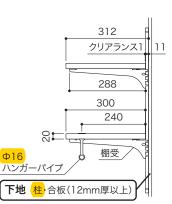
正面図

■ 幅630mm



■ 幅810mm





側面図

取り付けの前に

取り付ける壁面には、下地(柱・合板12mm厚以上・もしくはそれと同等以上)が必要です。 必ず下地をご確認の上、取り付けてください。

- ご 注 意

- ●取り付けできない壁面には絶対に取り付けないでください。落下・転倒により、ケガや破損のおそれがあります。
- ●取り付けの際、本体に衝撃を与えないようにご注意ください。

耐荷重の目安値

本製品は基本的に重量物を収納するために設計されておりません。耐荷重値以内の収納物であっても、集中的な荷重や、乱暴な積載はお避けください。

記載の耐荷重値は等分布荷重の場合の値です。

また、棚板についてはセットの棚板を使用した場合の計測結果をもとにしております。 それ以外の条件にてご使用の場合はこの限りではありません。 下記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。

パーツ	耐荷重の目安値	
棚板のみ	20kg以下	
棚板+ハンガーパイプ	20kg以下 ※ (パイプに掛かる荷重も含む)	

※但し、ハンガーパイプ部の耐荷重の目安値は5kg以下

取扱説明書

- ■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。 間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、 当社での保証はしかねますのでご注意ください。
- ■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような 警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

- (※1)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・
- やけど・感電などをさす。 (※2)物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。





「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意

棚板の上に乗らない。

安全のため製品には乗らないでください。 ケガ・死亡のおそれがあります。



部品が確実に取り付いているか確認。

部品が確実に取り付いていることを確認してください。 取り付けが不充分な場合、部品・収納物が落下してケ ガをするおそれがあります。





パイプにぶらさがらない。

パイプにぶらさがらないでください。 破損・落下・転倒してケガをするおそれが あります。



耐荷重の目安値よりも重いものを収納しない。

重量物を収納すると棚板が破損・落下し、ケガをする おそれがあります。

(左記 耐荷重の目安値 をご参照ください。)

で使用上のお願い



水濡れに注意する。

製品に直接水をかけたり、濡れた物を置いたりしないでください。表面化粧の剥がれや反りの原因となります。



粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等) は貼らない。

製品に粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)を貼らないでください。表面化粧がはがれるおそれがあります。



洗剤・化粧品・薬品などの付着に注意する。

柔軟剤・漂白剤を含む洗剤や、毛染めを含む整髪料・除 光液・クレンジング剤などの化粧品・薬品などが付着した 場合はすぐに拭き取ってください。放置すると表面化粧 のシミや変色、木口材の変形や割れの原因となります。



スプレー塗料での補修禁止

傷や汚れの補修をスプレー塗料で行なわないでください。表面化粧仕様のため、後から塗料がはがれます。



棚板の移動は一人では行なわない。

棚板のレイアウトを変更する時は、1人で行わず安全 のため2人で抜け止めを手前に引きながら行って下さい。

お手入れについて

●棚板



日常のお手入れ。

乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。 汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた物を 布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させ てください。



換気をしてください。

日常のお手入れ。

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの 発生原因となりますので、時々内部の収納物を出し て、十分な換気を行ってください。

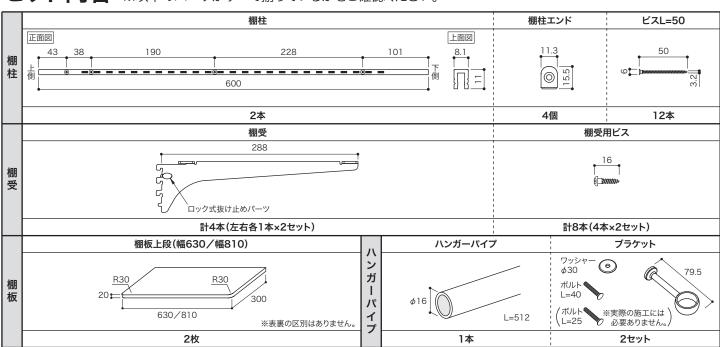
●金属部



市販のクリーナーを使用して乾いた柔らかい布で

お手入れしてください。 但し有機溶剤や研磨剤の入ったものは錆び、剥離

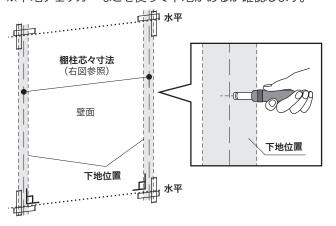
但し有機溶剤や研磨剤の入ったものは錆び、剥剤の原因となります。

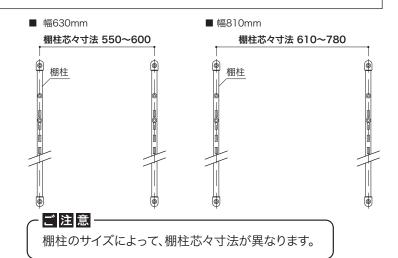


取り付け手順[棚柱の取り付け]

1 位置だし

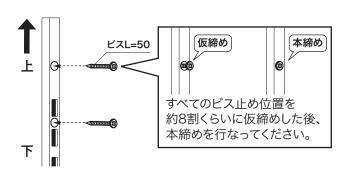
取り付け予定位置の下地を確認し、位置出しをします。 ※下地チェッカーなどを使って下地があるか確認します。





棚柱の取り付け

棚柱を下穴にあわせてビスL=50で取り付けます。

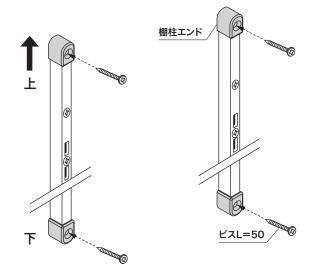


ご 注 意

- ●左右の棚柱が水平になるように取り付けてください。
- ●棚柱の上下にご注意ください。棚柱の端部にビス穴が 2カ所ある方を上側にしてください。

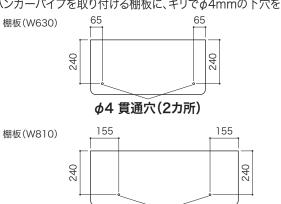
3 棚柱エンドの取り付け

棚柱エンドを棚柱の上下計4カ所にビスL=50で固定してください。



取り付け手順[棚板の取り付け]

棚板の加工(ハンガーパイプ付きのみ)

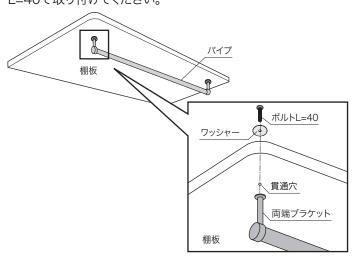


φ4 貫通穴(2カ所) ご注意

棚板のサイズによって、下穴位置が異なります。

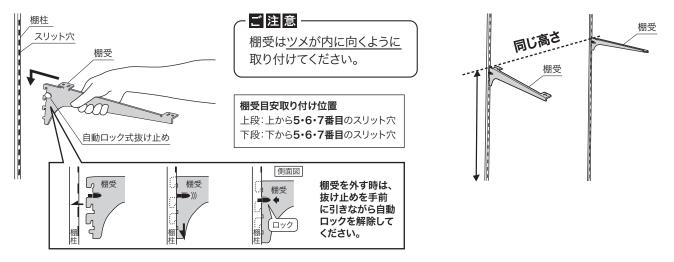
パイプの取り付け(ハンガーパイプ付きのみ)

パイプをブラケットに取り付け、4 で開けた貫通穴にボルト L=40で取り付けてください。



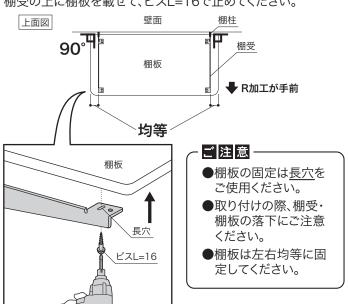
棚受の取り付け

棚柱のスリット穴に棚受を差し込み、爪部をしっかり落とし込んでください。左右の棚受は同じ高さに取り付けてください。



棚板の取り付け

棚受の上に棚板を載せて、ビスL=16で止めてください。



棚板の移動(確認作業)

棚板を上下に移動し、スムーズに可動できるかの確認を行なって ください。

※棚板を移動する際に、棚受の爪部が棚柱に入りにくい場合は、 棚受のビスを少しゆるめて調整してください。

